



平成 27 年 4 月 8 日

各 位

会 社 名 トナミホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 綿貴 勝介
(コード番号 9070 東証・第1部)
お問合せ先 執行役員 経営企画室長 三枝 保弘
(TEL 0766-32-1850)

新「中期経営3ヶ年計画」策定に関するお知らせ

当社は、このたび新・中期経営3ヶ年計画「さらなる高品質経営をめざして!!」を策定し、本年4月からスタートすることとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 策定経過について

- ☑ 当社グループは、2012年4月1日～2015年3月31日を計画期間とする「中期経営3ヶ年計画」の展開をはかってまいりました。
「自己革新への道 イノベーション・プラン “19”」をスローガンとして、重点骨子とする「事業構造改革」に取り組みました結果、最終年度の業績目標に到達する見通しとなりました。
- ☑ 次期計画においては、事業構造改革に続く、第2ステップとして、「お客様や社会からも信頼され、社会的責任を担う企業」をめざし、さらなる飛躍の3ヶ年にむけて邁進することとしました。
- ☑ 不確実性の高い時代への迅速な対応が求められる中、既成概念や慣行の見直しをはかり、より強靱でしなやかな機動力のある経営体質を構築することが肝要となっています。
そのためにも、当社グループは、コンプライアンス/コーポレート・ガバナンスに裏付けられた「高品質経営」に主眼を置き、「さらなる高品質経営をめざして!!」をスローガンとする中期経営3ヶ年計画を策定いたしました。

2. 計画概要について

－ “Leading step up 2017” さらなる高品質経営をめざして!! －

「事業構造改革を礎として、さらなる業容拡大を実践していく3ヶ年」と位置付け、グループ全体の「質・総合力」の向上をはかり、さらなる「高品質経営による新グループ体制の確立」をめざす。

(1) 計画期間

☞ 2015年4月1日～2018年3月31日(3ヶ年)

(2) 基本方針

- ① 特積み部門の一層の収益力強化をはかる。
- ② 重点事業基盤の強化をはかる。
- ③ 新たな事業戦略の推進により成長をはかる。
- ④ 人材育成・採用強化をはかる。
- ⑤ 最上級の物流品質をめざす。
- ⑥ コンプライアンス体制の強化による高品質経営をめざす。

(3) 経営数値目標

(金額単位：百万円)

	平成 26 年度 (※ ²)公表業績予想	平成 29 年度 (最終年度目標)
営業収益(※ ¹)	123,500	140,000
物流関連事業	(※ ³) 113,245	129,030
情報処理事業	3,500	3,650
販売事業	11,551	12,050
その他	1,499	1,640
営業利益	4,000	6,000
営業利益率	3.2%	4.3%
経常利益	4,400	6,200
経常利益率	3.6%	4.4%
当期純利益	3,200	4,400
当期利益率	2.6%	3.1%
ROA (総資産当期純利益率)	2.7%	3.4%
ROE (自己資本当期純利益率)	6.1%	7.0%

資金効率の向上による成長投資・株主配分増などをめざす。

(注) ※¹ セグメント間の消去を含みます。 ※² 平成 26 年度第 3 四半期決算発表時の公表業績予想です。

本資料記載の業績見通しに関する事項等(※²) (※³)については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上